

Northinspire 新潟開催研修会(2件あります)

新潟開催 石井 慎一郎先生研修会

体幹機能障害に対するリハビリテーション

この度 Northinspire では新潟市内で、国際医療福祉大学 石井 慎一郎先生をお招きして研修会を開催いたします。

体幹機能障害は体幹の運動制限のみならず、四肢の安定した運動を阻害し姿勢制御や運動制御の問題を引き起こすため歩行や寝返りを始め各種基本動作にも大きな影響を及ぼします。今回はバイオメカニクス、運動連鎖、神経生理学、機能解剖などに基づき体幹機能の基礎から動作への影響、臨床で遭遇する機会の多い高齢者や片麻痺患者の体幹機能の特徴など豊富な知識と技術を活かした評価に基づく臨床推論から治療方法を分かりやすくレクチャーしていただきます。座学だけではなくデモンストレーションも多数行っていただきますので新人セラピストにも理解しやすく、様々な疾患や障害に応用することが出来ます。

* 本研修会は座学形式の研修会ですが、進行状況に応じて一部実技練習を行います(個別の実技指導は致しかねますので、ご了承ください)

講師： 石井 慎一郎先生(国際医療福祉大学大学院福祉支援工学分野 教授)

タイトル：体幹機能障害に対するリハビリテーション

日程： 9月14日(土) 14:30-19:30(受付開始 13:50) 定員 100名

参加費： 8,000円(早期割引 8月14日までの申し込み) 以降 10,000円

* 本会参加者は翌日開催、腰痛シンポジウムの参加費割引有

会場： 新潟テルサ(新潟市中央区鐘木(しゅもく)185-18) 大会議室

【当日の内容(予定)】

- ・直立二足化に伴う体幹の解剖学的変化(脊椎・胸郭・骨盤)
- ・重力に適応するための体軸伸展活動、抗重量伸展活動、体幹の運動連鎖
- ・歩行など基本動作と体幹機能の関係性
- ・コア・体幹周囲筋に対するアプローチ
⇒腹横筋、多裂筋、腸腰筋、前鋸筋、僧帽筋、頸部深層筋、梨状筋、大殿筋など
- ・胸郭・胸椎に対するアプローチ
- ・骨盤帯・仙腸関節に対するアプローチ

お申し込みの際し Northinspire ホームページ、「セミナー規約」をご確認ください
メールの件名欄に「新潟 石井先生」と記載してください

yahoo メールを受信できるように設定してください

各施設単位(職場共有アドレスからのお申し込みも不可)や連名での申し込みではなく、必ず個人のメールアドレス(可能な限り携帯電話のメールアドレス以外)でお申し込みください

理学療法士協会等の単位認定は行いません

- ① 氏名、②フリガナ、③勤務先、④職種(PT、OT)、⑤経験年数、⑥E-mail アドレス(お申し込み時に使用したアドレス)、⑦緊急時連絡先(携帯)、以上を記載し northinspireseminar@yahoo.co.jp へお申し込みください

2 件目

認定・専門理学療法士ポイント付与研修会

新潟開催 腰痛シンポジウム 2019

多角的な視点から腰痛の評価と治療戦略を学べます

この度 Northinspire では 9 月に新潟で、「腰痛シンポジウム 2019」を開催致します。腰痛はセラピストの対象疾患として古くから一般的であり、既往歴や随伴症状として腰痛を有することも非常に多いです。しかし、腰痛は原因が複雑であることや、同じ腰痛であっても高齢者と若年者、競技特性(スポーツ)など考慮すべき点が全く異なるなど、臨床で悩むことが多いです。今回は 10 年以上に渡り、腰痛の臨床に携わり、異なる視点で腰痛の臨床を行う 3 名の講師(運動器認定理学療法士)から、基礎から臨床応用まで、多角的な視点で腰痛の評価と治療戦略を学ぶことが出来ます。各講師の講演終了後には参加者からの質問に答えるディベート時間も設けます。

* 本研修会は座学形式の研修会です

* 本メールは過去の新潟開催 Northinspire 研修会参加者に送信しております

日程： 9 月 15 日(日) 受付開始 9:20 研修会 9:40~16:30(昼休み 50 分)

会場： 新潟市内(お申込み後お伝えいたします)

受講費： 5,000 円(当日徴収) 単一講演のみ聴講希望の場合、各 2,000 円

* 前日開催石井先生研修会参加者は 4,000 円で受講できます

本研修会は、日本理学療法士協会 認定理学療法士および専門理学療法士制度 履修ポイント対象研修会です(認定領域は運動器が対象 5ポイント付与)

*** 新プロ未修了者はポイント付与対象外ですのでご注意ください**

【谷口 英一先生(Northinspire) 9時40分～11時40分】

「基礎から学ぶ 分類に基づく腰痛の評価と治療戦略」

・キーワード⇒腰痛の分類、発痛組織、腰部(局所)、生物心理社会モデル、高齢者

セラピストが臨床で頻繁に遭遇する痛みとして腰痛が挙げられる。近年、腰痛を最もシンプルに分類した特異的腰痛と非特異的腰痛の概念はセラピストに浸透してきている。しかし、セラピストが関わる機会の多い非特異的腰痛には様々な病態や機能障害が含まれているため評価や治療に苦慮することが多い。本講演では非特異的腰痛を機能障害別(腰部関節機能障害、運動制御障害、神経障害性疼痛)に分類するための評価法や治療戦略をレクチャーする。今回は非特異的腰痛の評価・治療だけではなく、スクリーニングツールを用いた生物心理社会モデルとしての関わりが求められる腰痛の評価法や高齢者の腰痛の介入のポイントも紹介する。

【笹川 健吾先生(看護リハビリ新潟保健医療専門学校) 12時30分～14時10分】

「姿勢・動作分析から捉える腰痛の評価と治療戦略」

・キーワード⇒姿勢・動作分析、体幹機能、運動連鎖、インナーユニット

いわゆる腰痛症は、画像上その原因が特定できない非特異的腰痛症が多くを占める。臨床上、腰痛と言えば姿勢・動作分析はルーチンな評価項目であろう。しかし、運動連鎖を考慮すると姿勢・動作分析は末梢部位である上下肢や頸部からの影響も考慮し、分析されるべきである。また、近接部位でも寛骨・仙骨・肋骨などの細かいアライメント不良も腰痛の引き金になることを理解しておく必要がある。脊柱はそれら四肢や近接部位からの運動連鎖によるアライメント不良を呈し、体幹の深部筋群で構成されるインナーユニットの機能低下を招く。今回は腰痛の局所と全身の捉え方とその評価・アプローチを紹介する。

【加藤 雄樹先生(こん整形外科クリニック) 14時20分～16時】

「競技特性(スポーツ)に応じた腰痛の評価と治療戦略」

・キーワード⇒競技特性、動作特性、再発防止、アスレティックリハビリテーション

スポーツにおける腰痛は、パターン化された競技特異的な動作の反復、外部からの大きな負荷、オーバートレーニングなどの過剰なストレスによって生じる。そのため、セラピストは一般的な腰痛と同様の機能障害(関節機能障害、モーターコントロール異常など)に対する評価・治療に加え、競技の動作特性を理解し、競技特異的な負荷を想定したアスレティックリハビリテーションまで行うことが求められる。本講演ではスポーツにおける代表的な腰痛メカニズムを解説した上で、競技の動作特性を考慮した理学療法評価と治療戦略をレクチャーする。運動療法プログラムは、一般の腰痛治療に応用できるものからアスレティックリハビリテーションまで紹介する。

お申し込みの際に当研究会ホームページ、「セミナー規約」をご確認ください
メールの件名欄に、「新潟 腰痛シンポジウム」と記載してください

* 単一講演のみ聴講希望者は、聴講したい講師の名前をメール本文に記載してください
申し込みの際に教えていただいた E-mail アドレスへ返信いたします (yahoo メール迷惑メール設定等の確認をお願いいたします)

各施設単位 (共有アドレスからのお申し込みも不可) や連名での申し込みではなく、必ず個人でお申し込みください

① 氏名 (フリガナも必須)、②勤務先、③経験年数、④資格 (PT、OT など) ⑤E-mail アドレス (返信用) プライベートアドレス、⑥緊急時連絡先 (携帯)、を記載し northinspireseminar@yahoo.co.jp へお申し込みください

*** 認定・専門理学療法士ポイント申請を希望される方**は、⑦PT 協会会員番号 (8 桁) ⑧生年月日 (西暦 8 桁で⇒記載例 19880318) も上記の申し込み事項と合わせて記載をお願い致します。(手続きの都合上、フリガナ等も含め記載漏れがあるとポイントが付与されませんのでご注意ください)

* 当日は PT 協会会員証の持参や提示は不要です。